

3 学年だより vol. 2

2022. 6. 16 新潟県立柏崎常盤高等学校 3 学年

夏が近づいてきました。3年生にとって大事な時期です。進路実現に向け、今自分に何が必要かを考えながらスケジュールをたててください。3年生は皆が受験生です。希望する進路先に合格したい気持ちは皆一緒です。互いに励まし合い、仲間の進路実現を応援する学年集団をつくりましょう。

模試受験について

＜志望校記入＞

- ①タテの幅 …偏差値などを参考に設定にし、難易度に幅を持たせる。
- ②ヨコの幅 …志望する学部・学科にある程度の幅を持たせる。
(例) 経済学部志望→経営学部、商学部も視野に入れる。
- ③奥行き …地域による移動距離。 (例) 県内志向→近県、東京周辺も視野に入れる。
- ④受験方式 …私大における「大学入学共通テスト」「2教科入試」「全学部入試」など。
(ただし、「3教科入試」がやはり定員も多く、基本である。)

※国公立大を記入する場合は、「前期」のみで幅を持たせて設定。

・「正確な自己採点」も大切な練習です！問題に必ず答えを残しておく！！

「毎日の予習・復習」「模試後の振り返り」「弱点分野の総復習」

あくまでも授業が基本です。1, 2年の総復習、これから必死にやってください。「これさえやれば成績があがる」そんな魔法みたいな方法があれば、だれも苦労はしません。やらなかった分を取り返すのは自分のこれからの努力だけです。

受験勉強は自学が基本です。指示されたことだけをやるのではなく、自分からやることを忘れずに。誰かが、何かをしてくれる……のではありません。

自己の弱点を把握し、弱点克服のために何をすればよいのかを考え、勉強する→模試を受ける→現在の自分の学力を確認→弱点の補強……の繰り返しです。

きっと誰かが、何かをしてくれる……のを待っていては進路実現はできません。

「自分が動く。自分から動く。」

期末テストに向けて

学力向上の第一歩は基礎基本の習得。まずは、期末考査の学習を全力で！ 日々の地道な学習の積み重ねが基礎力となります。授業や予習・復習、小テストなどをおろそかにして模試や進学補習を受けていても、基礎力の土台がなければ学力は向上しません。1学期の成績で欠点がある場合は、進路に優先して欠点補習や課題に取り組んでもらいます。期末考査に全力で取り組んでください。

受験生の常識

1 三者面談までに保護者の方とよく進路について相談しておく。

夏休みには三者面談を行う予定です。それまでに保護者との間で意思疎通ができていること、そしてできる限りの希望を考えていくことが大切です。大学でも専門学校でも入試費用や入学費用、授業料などは保護者が負担するものであり、保護者の方のご理解とご協力がなければ、進路実現はできません。

2 担任や関係する先生方への相談や報告を忘れずに。

進路について調べても分からないことがある場合、また面談後の進路希望変更がある場合は、必ず担任に相談、報告をしてください。また、試験の日程、合否が分かったとき、進学先（就職先）が決定したときなどは必ず担任とお世話になった先生に報告をすること。特に、学習指導、面接練習や小論文指導などすべての関わってくださった先生にお礼をいうことは当然のマナーです。

3 締め切りを守る！！

進学先への書類や、校内での正式な書類（「△△発行願」のたぐいのもの）などは1日でも締め切りを過ぎると受け取ってもらえなかったり間に合わなかったりするものがほとんどです。また、学校から出す書類は10日前までには担任や事務室に依頼しておくこと。締め切り間際に何が起こるかわかりません。その結果、志望校に出願できない可能性もあります。余裕を持って早めに動けるように準備しましょう。

4 書類の記入はボールペンで！

進路関係の学校の書類や、進学先への提出書類はボールペンで丁寧に書くこと。

なお、フリクション式（「消せる」タイプ）のボールペンは絶対に使用しないこと。書いたはずの文字が消えてしまう場合や、消したはずの文字が勝手に浮き出てしまうことがあり、危険です。

5 全ての基本は健康。

体調管理は受験生の基本中の基本。長期戦の受験生の生活は、体力があってこそです。食事や睡眠、余暇の時間の過ごし方。大きな目標を実現するためには、自律的な生活が不可欠です。

また、体の健康は心の健康の上に成り立っています。息抜きや楽しいことを普段の生活の中に取り入れて心のバランスを取りましょう。辛いときには信頼できる仲間や大人に相談しましょう。きっと前向きになれる力をもらえると思います。

志望理由書 就職試験、専門学校・大学等の推薦入試を考えている人へ

2年生終わりに取り組んだ「志望理由・自己PR完成ノート」に、もう一度、今度はより丁寧に、より真剣に、再度取り組んで下さい。解答冊子を熟読し、志望先の求めている問いにしっかり答えられているかどうか確認しましょう。

単に「〇〇が好きだから」ではなく、「自分が社会とどう関わっていくか」を考えて述べることが重要です。「進みたい分野が決まっているのに、志望動機が書けない」という人、憧れや希望は持っているけれど、実際にそれを実現させるための情報収集をしてないのが原因です。

- 志望校の設立の経緯は？
- 志望校の得意分野は？
- 志望学部で何が学べる？
- 志望校でどんな資格が取れる？
- めざす資格や職業にどんな社会的意義や価値がある？
- 学びたい分野に関する新聞記事を読んでいる？
- その分野で今何が課題とされている？学びたい分野の「入門書」や「ガイド的書籍」を一冊でも読んだことがある？
- その学問を学ぶ先輩たちの、学問に関する考えを読んだことがある？
- その学問の「やりがい」が何か、実際に学んでいる人の声を読んだり聞いたりしたことがある？
- その学問を学ぶ上で何が「つらい」か、実際に学んでいる人の声を読んだり、聞いたりしたことがある？
- 志望校、志望学部の主な就職先は？ 働いている先輩たちの、職業に関する考えを読んだり聞いたりしたことがある？
- その職業の「やりがい」が何か、「キツイところ」が何か、実際に仕事をしている人の声を読んだり、聞いたりしたことがある？

志望動機は、このような情報を収集していきながら、「同じ□□という学問のなかでも、特に△△という分野を学びたい」、「□□を学んで社会にこういう形で貢献したい」という考えを作り上げていくものです。必要な情報を収集して自分の考えを深め、確固とした志望理由を書き上げましょう。